

第34回東北総合体育大会サッカー競技 (少年男子)

戦評用紙

平成19年 8月11日(土) キックオフ 9時30分・13時30分

会場 あづま陸上・補助陸上・第2多目的

第 1 試合 福島 県選抜 \geq $\begin{bmatrix} 2 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{bmatrix}$ / 山形 県選抜

《戦評記載者》 江本 城幸 (勤務先: 福島県立相馬高校)

気温34℃の猛暑の中、福島対山形のゲームは4-4-2の同システムで開始した。福島は前半立ち上がり2分に左サイドからのフリーキックを10番大槻がヘッドでゴールを決め、1-0とした。さらに同点には右サイド付近からのFKを運んだグラウソンのボールを2番持倉が合わせ2-0に付けた。素早いボールを右衛門はFWの足元やスペースに配給し、その材料も運ぶ福島ペースで前半が終了した。

後半山形は両サイドから積極的な仕掛けと地味ボールを打ち出し、同2分11番荒井が右サイド付近に打ち込んだボールを上手くコントロールし、ドリブルからゴール右隅に決め、2-1と1点差に縮めた。

その後両チームとも決定的な思わぬ状況が何度かあったが、ゴールを決められず、2-1で福島が勝利した。

両チームともミッドフィールド・ディフェンダーと2人のフルバックにそれぞれFWが自由にキック動作に傾いており、そこには問題があった。明日最終日に向け疲労した身体に好成績にも修正可能な点と感じた。

◇記録用紙の裏面にこの用紙を貼付して下さい。